

2021 年度実施概要

学校名

羅臼町立羅臼小学校

採択活動名

知床学（海洋教育）「地域の海を守るために私たちができること」
～知床の豊かな自然等ふるさとのよさを学ぶ～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

| 単元名 | 学年 | 教科 |
|------------------|------|-----|
| 1. きせつとともにだち | 第1学年 | 知床学 |
| 2. まちが大すきたんけん隊 | 第2学年 | 知床学 |
| 3. めざせ生きものはかせ | 第2学年 | 知床学 |
| 4. サケ稚魚放流 | 第2学年 | 知床学 |
| 5. 羅臼の生き物を伝えよう | 第3学年 | 知床学 |
| 6. 羅臼の漁業について調べよう | 第4学年 | 知床学 |
| 7. 羅臼の産業を探ろう | 第5学年 | 知床学 |
| 8. 自分の将来を考えよう | 第6学年 | 知床学 |

取り組みの概要

本校は山・川・海が結び付いた大自然、世界自然遺産の知床の中にある。これまで、世界遺産である知床に立地している利点を生かし、総合的な学習の時間や生活科の中で「知床学（海洋学）」として取組の充実を図った。

第1・2学年では、幼稚園からの学びをつなぎ、国語科や生活科と関連付けながら、地域の自然や仕事について活動を通して学んだ。

第2学年では、漁協・地域住民から鮭の生態や稚魚を放流する意味について説明を受け、3年後の帰郷を願い稚魚放流に取り組んだ。この学習を通して、児童は鮭の生態について学ぶだけでなく、羅臼の自然の豊かさや地域の取組の様子から、「ふるさと羅臼」に対する思いを強くもち、海の豊かさと大切さを実感した。

第3・4学年では、低学年での学びを基にして、地域の自然や産業について自ら課題を設定し、地域の方へのインタビューや本・インターネットを活用した調べ学習を行い、課題を解決した。

第3学年では、生き物調べの学習を行い、知床財団職員の方の講話やインタビューから海や山の羅臼の生き物図鑑を作成した。この学習を通して、羅臼に生息する生き物についての興味・関心を高めていた。

第4学年では、羅臼川探検の体験活動を通じて、海を豊かにするには川がきれいなことが大切であることに気づき、川の水質検査を行った。羅臼川がきれいなのか比較するため、東京・大阪の学校とも交流し、各地域の川の水質を比較実験した。児童はこの学習を通して、自ら課題を設定し解決するとともに様々な人との対話を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしていた。



【水質検査をしている児童の様子】

第5学年では、羅臼昆布を題材として地域の産業について学び、他学年に羅臼の基幹産業である昆布のことを伝える「こんぶフェスタ」を校内で開催した。この学習を通して、地域住民の郷土の産業を大切にしている考えに触れて、「羅臼の海のすばらしさを改めて感じた。」、「地域の人たちが守ってきた海を自分たちもしっかりと守りたい。」などの思いを高めていた。

第6学年は、これまでの学習で学んできた羅臼のよさを発信する活動を位置付けた。「羅臼の良さを再発見」をテーマに学習を進め、海を含めた自然の豊かさや地域の魅力ある人・物・自然を再確認し、ふるさと羅臼を多角的に捉えようとする態度を育むことをねらいとした。地域の良さを発信する手段として、1人1台端末を活用し、SNSで活動の様子を発信し、多くの方に羅臼の魅力をってもらう取組を行った。SNSを見た人からのコメントが書き込まれたことで、児童は情報を発信する意欲を高めていた。

これらの活動を通して、羅臼の豊かな自然環境や産業などに関する学習を通して、自ら課題を見付け、その課題解決に向け主体的に学習に取り組み、これからの自分の生き方を考えることができた。



【こんぶフェスタの様子】



【羅臼の魅力をSNSで発信】